

## 施工後、現場対応でリモコン相互干渉防止にする場合 (O7ウォシュレット一体形取替機能部R1(TCF902R・903R)用)

### 1. 施工後の対応

万一、連立トイレに正規品のみを取り付けて誤作動した場合は、現場で特注品に切り替えることができます。この場合は、必ずリモコンと本体に特殊コードラベルを貼ってください。(メンテナンス性向上のため)  
特殊コードラベルの品番は、[特殊コードラベル一覧](#)をご確認ください。

### 2. 連立トイレの配置例

正 規 品	(タ イ プ 1) 1	(タ イ プ 2) 2	正 規 品	(タ イ プ 1) 1	(タ イ プ 2) 2
(タ イ プ 3) 3	(タ イ プ 4) 4	(タ イ プ 5) 5	(タ イ プ 3) 3	(タ イ プ 4) 4	(タ イ プ 5) 5

### 3. 連立トイレ対応方法

#### <<本体側の設定方法>>

※設定変更が下記説明書で行えない場合は、**TOTOメンテナンス**へご依頼下さい。(有償)  
 ※作業途中で失敗した場合は、もう一度最初からやり直してください。

リモコン特殊コード切り替え方法(ウォッシュレット本体側)

---

※途中で失敗した場合は、もう一度最初からやり直してください。

**手順 1**

本体操作部の **運転** 入/切 を10秒以上押し続ける。

10秒後に全てのランプが**2秒間点灯**します。

**本体表示部**

TOTO WASHLET

- 運転
- 温水
- 便座
- 節電

緑色点灯

TOTO WASHLET

- 運転
- 温水
- 便座
- 節電

運転・温水・便座  
→緑色点灯  
節電→橙点灯

TOTO WASHLET

- 運転
- 温水
- 便座
- 節電

ランプが全点灯から  
点灯または点滅に  
なったら、最初から  
やり直してください。

この間**2秒**

「下図は例です」

---

**手順 2**

運転 入/切 を押したまま本体の全ランプが点灯(2秒間)

すると、**すぐに** **ビデ** 入/切 を5秒以上押し。

5秒後に手順3の設定コードのようにランプが点灯します。

---

※失敗した場合は、もう一度手順1からやり直してください。

**手順 3**

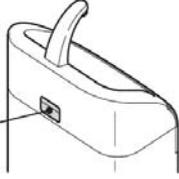
運転 入/切 を押したまま、**おしり** 入/切 を押し。

**おしり** 入/切 を押すたびに標準→特1→特2…特9→標準と設定が切り替わります。

**本体表示部**

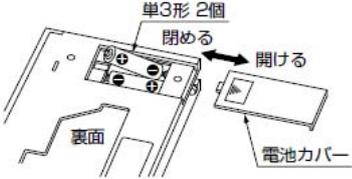
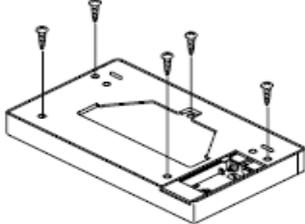
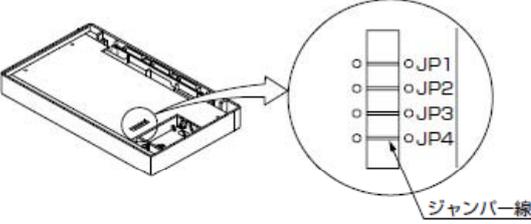
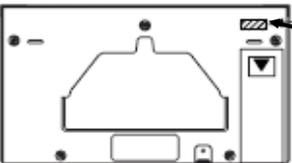
●…点灯 ×…消灯

	標準	特1	特2	特3	特4	特5	特6	特7	特8	特9
運転	●	×	●	×	●	×	●	×	●	×
温水	●	●	×	×	●	●	×	×	×	●
便座	●	●	●	●	×	×	×	×	×	×
節電(タイマー・おまかせ)	×	×	●	×	×	×	×	●	●	●

手順	リモコン特殊コード切り替え方法(ウォシュレット本体側)
4	<p> <span data-bbox="167 118 215 145">運転</span>  <span data-bbox="167 163 215 190">入/切</span> から手を離れた時点で設定したコードになります。         </p> <div data-bbox="252 203 994 288" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>※手順1、2の操作で設定したコードを確認することができます。</p> </div>
5	<p>ウォシュレット本体の裏面に切り替え後の特殊コードラベルを貼る。</p> <div data-bbox="970 331 1297 510" style="text-align: right;">  <p>コードラベル</p> </div>

※リモコン側の切替作業終了後、必ず作動確認を行ってください。

## &lt;&lt;リモコン側の設定方法&gt;&gt;

手順	リモコン特殊コード切り替え方法(リモコン側)																																																								
1		<p>①リモコンハンガーからリモコンを取りはずす。 ②電池カバーを開けて、乾電池を取りはずす。 (乾電池が入ったままだと切替わらない場合があります。)</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center; color: white; background-color: #ff00ff; display: inline-block; padding: 2px 5px;"><b>ご注意!!</b></p> <p>電池を必ず抜いて作業を行ってください。 電池を抜かないと連立モードに切り替わりません。</p> </div>																																																							
2		<p>リモコン裏面のねじ5本をプラスドライバーではなく、裏板を取りはずす。</p>																																																							
3	 <p style="text-align: center;">◎: つながったまま ×: 切断</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>コード</th> <th>標準</th> <th>特1</th> <th>特2</th> <th>特3</th> <th>特4</th> <th>特5</th> <th>特6</th> <th>特7</th> <th>特8</th> <th>特9</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>JP1</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>JP2</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>JP3</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>JP4</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>	コード	標準	特1	特2	特3	特4	特5	特6	特7	特8	特9	JP1	◎	×	◎	×	◎	×	◎	×	◎	×	JP2	◎	◎	×	×	◎	◎	×	×	◎	◎	JP3	◎	◎	◎	◎	×	×	×	×	◎	◎	JP4	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	×	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center; color: white; background-color: #ff00ff; display: inline-block; padding: 2px 5px;"><b>ご注意!!</b></p> <p>◎ジャンパー線の切断は、切りまちがえないように注意して行ってください。 ◎ジャンパー線の切りくずがリモコン内に入らないように注意してください。</p> </div> <p>リモコン基板上的4本のジャンパー線を、左表にしたがってニッパで切断することにより特1～特9へ切り替える。</p>
コード	標準	特1	特2	特3	特4	特5	特6	特7	特8	特9																																															
JP1	◎	×	◎	×	◎	×	◎	×	◎	×																																															
JP2	◎	◎	×	×	◎	◎	×	×	◎	◎																																															
JP3	◎	◎	◎	◎	×	×	×	×	◎	◎																																															
JP4	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	×																																															
4	<p>①裏板をねじでリモコンに取り付ける。 ②リモコンに乾電池を入れて、リモコンハンガーに取り付けてください。 ◎乾電池の入れかたは、手順1を参照してください。</p>																																																								
5	 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p style="text-align: center;">例    リモコンコード特1</p> <p>このリモコンは特1タイプの本体のみを操作できます。</p> </div>	<p>切り替え後の特殊コードラベルを貼る。 ◎リモコンの裏面に貼付してください。</p>																																																							

※1 ウォッシュレット本体側の切替作業終了後、必ず作動確認を行ってください。

※2 基板内部を扱う作業になりますので、静電気及び取り扱いには十分ご注意ください。  
(内部精密機器を破壊するおそれがあります。)